

『VIEW next』高校版・2022年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	国語・現代の国語
【分野・単元】	三 説得力を高めるために 〈書く〉
【テーマ・作品】	なぜ読書をするのか？
【設定時数】	8
【単元の目標】	読書の意義と効用について理解を深めながら、そのことについての自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	○ ガイダンス ○「言葉を拾う」方法と効果	言葉を拾う方法や意義について理解する。	知識、技能	・本単元のガイダンス(目標・本質的な問い・最終課題(プロジェクト)・学習の流れ) ・題材をもとに引用の効果と作法について個人で考え、グループで共有、全体発表で共有 ・ふりかえり	・学習の見通しをもたせる(何のために、何を、どれくらいかけて、どんな流れでするのか、それによってどんな力を身につけるのか)	・「失敗しなさい」を合言葉に、声を受け止める場をつくる。		形成的評価は学びの地図 総括的評価は定期考査
2	○「読書の楽しみ方」とは 1	読書の意義と効用について、著者の考えを読み取る。	思考力、判断力、表現力	・ふりかえりのふりかえり ・読書の意義と効用についての著者の考えを個人でまとめ、グループで共有、全体発表で共有 ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	・「失敗しなさい」を合言葉に、声を受け止める場をつくる。	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価は定期考査、パフォーマンス課題
3	○「読書の楽しみ方」とは 2	読書の意義と効用について、著者の考えを読み取る。	思考力、判断力、表現力	・ふりかえりのふりかえり ・読書の意義と効用についての著者の考えを個人でまとめ、グループで共有、全体発表で共有 ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	・「失敗しなさい」を合言葉に、声を受け止める場をつくる。	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価は定期考査、パフォーマンス課題
4	○ 本探し1	テーマに合う本を探そうとする。	主体性	・ふりかえりのふりかえり ・本を探したり、本を読んだりする ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす		・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価はパフォーマンス課題
5	○ 本探し2	テーマに合う本を探そうとする。	主体性	・ふりかえりのふりかえり ・本を探したり、本を読んだりする ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす		・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価はパフォーマンス課題
6	○ ポップ・紹介文作り 1	自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。	思考力、判断力、表現力	・ふりかえりのふりかえり ・ポップ・紹介文を作成する ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす		・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価はパフォーマンス課題
7	○ ポップ・紹介文作り 2	自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。	思考力、判断力、表現力	・ふりかえりのふりかえり ・ポップ・紹介文を作成する ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす		・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価はパフォーマンス課題
8	○ 品評会	読書の意義と効用について主体的に考えを深める。	主体性、多様性	・ふりかえりのふりかえり ・作品を見学しあい、コメントしあう。グループ内プレゼンもするかもしれない。 ・ふりかえり	・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす		・ふりかえりを全体でふりかえることで深みをめざす	形成的評価は学びの地図 総括的評価は学びの地図